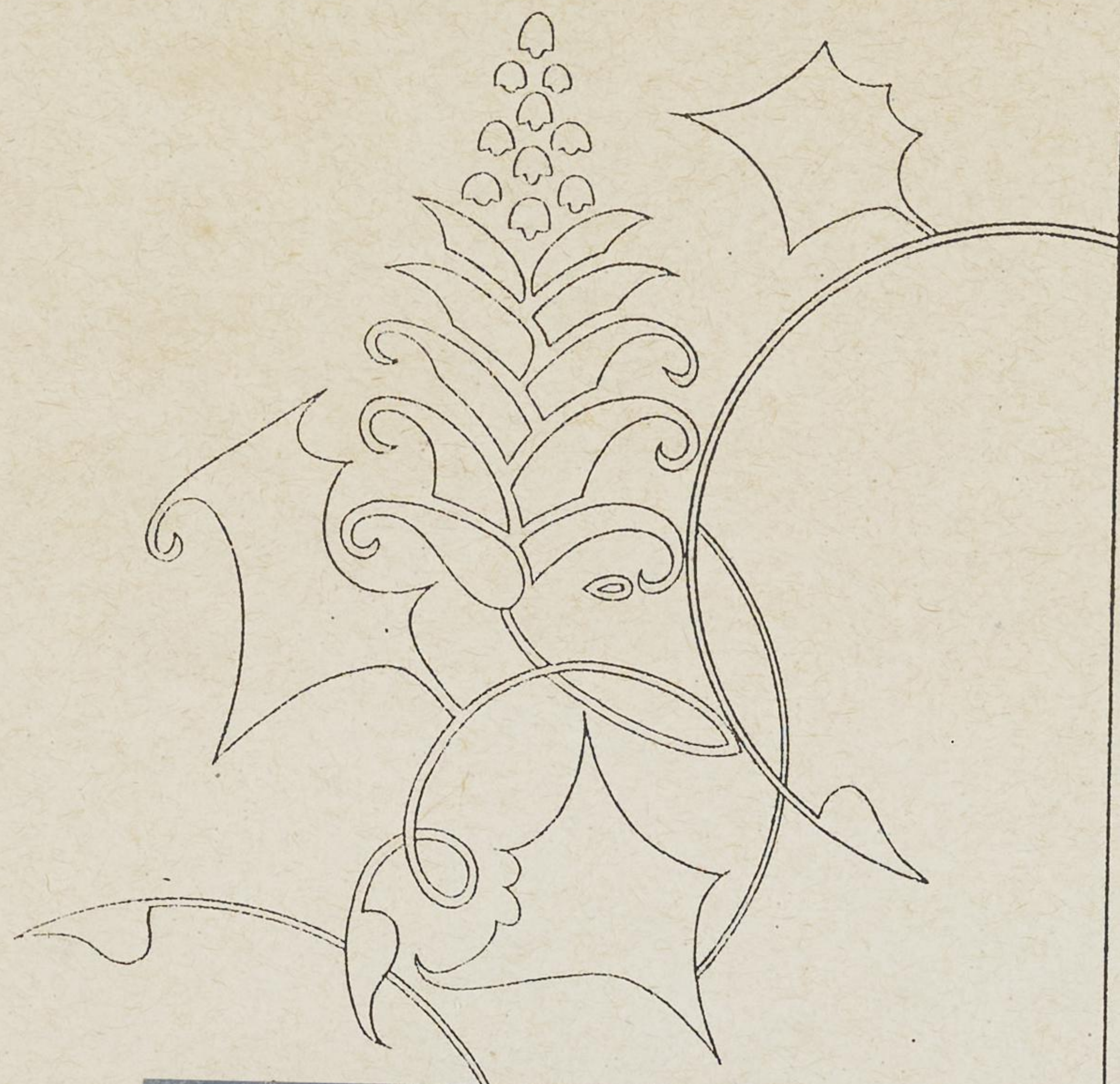


新編 現代國文讀本

上



寄贈 芥川昭寿

(柳井市阿月出身)

31812
H311745
v.1

新編現代國文讀本上

目次

一 清淨の國(文).....	大町桂月	一
二 さくらの花.....	芳賀矢一	六
三 今様.....		一〇
四 東西の自然詩觀.....	本間久雄	二
五 蓮月尼.....	相馬御風	七
六 繪日傘(和歌).....		三
七 世界的市民(文).....	徳富猪一郎	三
八 新時代の修養.....	杉森孝次郎	三
九 アメリカ合衆國と極東.....	米田實	三

目

一

一〇 東西文化の融和……………新渡戸稻造 四
 一一 野口英世(文)…………… 壘
 一二 東海の小島(和歌)…………… 奏
 一三 大海の日の出(文)……………徳富健次郎 五
 一四 無憂華……………九條武子 三
 一五 和宮内親王の御婦徳……………萩野山之七
 一六 光……………吉田絃二郎 八
 一七 興國の樅……………内村鑑三 六
 一八 日本國民性の長短……………田澤義鋪 九
 一九 日本民族の覺悟……………田中寛一 一〇
 二〇 梅一輪(俳句)…………… 一四
 二一 紅蘭女史(文)……………三輪田眞佐子 一六
 二二 歐米の婦人を觀る……………堀口九萬一 一三〇

二三 銀線を描く……………浦松佐美太郎 一八
 二四 川柳…………… 一六
 二五 論語小解……………澁澤榮一 一四〇
 二六 道程を愛する心……………鶴見祐輔 一四
 二七 西行と實朝(和歌)…………… 一五三
 二八 野村望東尼……………額田六福 一五三
 二九 我が國の文學(文)…………… 一七三
 三〇 松の月(俳句)…………… 一八三
 三一 現代の青年に與ふ……………澁澤榮一 一八四
 三二 諫を喜ぶべし(文)……………貝原益軒 一八
 三三 大佛の頭(俳句)…………… 二〇一
 三四 大河……………徳富健次郎 二〇三
 三五 親心……………西田幾多郎 二〇四

二 苔 み づ (和歌) 良 寛三四

三 佛教とキリスト教 姉崎正治 三六

新編 現代國文讀本 上

一 清淨の國

大町 桂 月

日本の特質は少からざれども、特質中の特質とも云ふべきは、清淨の國なることなり。日本國民は一般に清淨の美を愛す。その心清淨なり。その衣、その食、その家清淨なり。その國一體が清淨なり。清淨の美を解せざるものは到底日本を解するを得ざるなり。

敷島の和心を人間はば

朝日にほふ山櫻花

この歌が日本一般に愛誦せらるるは、國民精神の清美を歌ひ出

一 清淨の國

この對照は、東洋と西洋との文明に著しく現れて、文學・美術・道德、法律・政治などに各、其の特徴が現れて居る。それ等の特徴を極めて簡單なる例で云つて見れば、佛像は鎌倉の大佛の如く、靜に眼を閉ぢて自己といふ考を無くして寂滅の姿であるが、之に反してキリストの像はギドレニーの「荆冠のキリスト」の如く、眼を開いて天を仰ぎ、或はラファエルの「シスチナ像」の如く、喜悅の眼を開いて威風を四方に示して居る。尙一つの例を言へば、佛教の精神は茶の湯の如く、音もなく、聲もなく、一椀の銘茶を啜る間に現れて居り、キリスト教の精神は、天上から下つて來る天樂とも聞える音樂の中に聖餐式の葡萄酒を飲むのが、其の趣になつてゐる。 (光あれ)

新編現代國文讀本 上終

千九百四十一年二月發行

編纂兼
發行者

布哇ホノルル市

布哇本派本願寺學務部

大日本京都市壬生川通五條下

印刷所

同

朋

舎

“MADE IN JAPAN”